



Special Edition  
地域の魅力  
再発見企画

かつて天王元宿（第5区）地域に存在したといわれる「しの笛」のお囃子。今では、聞くことができなくなってしまった伝統の旋律といえます。天王元宿祇園囃子を守る会では、しの笛の旋律をもう一度復活させようと、子どもから大人まで稽古に励んでいます。今回の特集では、関係者への取材を通して、郷土芸能の価値と守り伝えていく人たちの想いに迫ります。

# 継承者たち 郷土芸能の

特集  
地域の誇りと  
伝統の旋律を心に刻む



忘れ去られていた旋律を取り戻す。  
次の世代の子どもたちのために。  
地域の誇りとして—。

## 人にやさしい行政を

今年も、やささと活気の調和したまち“おうら”にこだわります。



### 金子正一 町長

かねこ まさかず ● 1942年生まれ。町政に対する姿勢は、「真面目にまっすぐに町づくり」。趣味は、ウォーキングなど。

町民のみなさん、新年あけましておめでとうございます。2013年の新春を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。また、日ごろから、町づくりへの温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

#### 堅実な財政運営を目指して

昨年は最優先課題を見つけ、緊急性と必要性があるものを中心に、事業を展開してきました。邑楽町公民館と町民体育館、武道館の耐震補強・改修工事などを実施。老朽化した石打町営住宅の建て替え工事にも着手しました。邑楽町地域防災計画の見直しや防災行政無線の整備にも着手したところです。今後は、教育施設の改築工事なども視野に入れて、事業を進める予定です。

#### 子どもやお年寄りの健康を大切に、まちの支援

少子化対策、高齢者対策などは重要な問題です。限られた予算の中でも福祉サービスの充実を図ることが、人にやさしい町づくりの基本と考えま

す。子育て世代を支援するため、15歳までの医療費の無料化は今後も継続していきます。また、町の高齢化率は約23%と、本格的な高齢社会を迎える深刻な段階に入りました。在宅介護をしている人の支援や施設サービスの

#### 町民の皆さんがこの町に住んでよかったと思える行政施策を—。

拡充など、可能な限り支援していきたいと思います。

いきいきと暮らすためにも、健康は大切です。保健センターや町内の医療機関などと連携して、町民の皆さんの健診や健康管理の支援も進めていく考えです。

#### より多くの魅力を発信する

役場庁舎の窓辺に立つと、おうら中央公園やすらぎの池に白鳥を眺めるこ

とができます。ここ邑楽町は、寒風吹きすさぶ季節になると、遠くシベリアから白鳥が数多く飛来し、その翼を休める場所です。多々良沼やガバ沼などでも数多く観察することができます。シンボルタワー「未来MiRAi（みらいみらい）」からは、赤城・榛名・妙義の上毛三山を望み、晴れた日には関東平野はもとより、遠く富士山や筑波山まで一望できます。

また、昔から粉食文化が根づいている邑楽町では、数多くのそば店がしのぎを削っています。町内そば店の有志が結成した「そばの町おうら会」では、「そばの町おうら」をPRし、地域産業の活性化を目指しています。

#### 着実に歩を進める一年に

何より住んでよかったと思える町づくりのため、今年も全力で町政運営に臨んでいく所存です。結びに、本年が町民のみなさんにとって、健康でよりよい年となりますよう祈念しまして、私の新年のあいさつといたします。